

平成元年度水産関係 兵庫県予算

水産課

一般会計 二、七〇五、九〇二千元
特別会計 五八一、三九七千元

平成元年度当初の県水産課予算は、一般会計で二、七〇五、九〇二千元、特別会計で五八一、三九七千元となりました。主なものは、

- (1) つくり育てる漁業の推進、(2) 漁場の整備、(3) 漁業経営の健全化、(4) 技術開発と普及となっています。

また、日本海側におけるつくり育てる漁業の拠点施設として、但馬栽培漁業センター(仮称)の建設に着手するほか、淡路栽培漁業センター等の施設整備

表1 種苗生産計画(元年度)

主な種類	総数	水産試験場	栽培漁業センター	日本栽培漁業協会
クルマエビ	22,000千尾	12,000千尾		10,000千尾
ガザミ	400	400		
マダイ	1,000		1,000	
ヒラメ	500		500	
マコガレイ	150		150	
クロアワビ	50	※ 50		

(注) 1. ※印は但馬水産事務所で生産。
2. 栽培漁業センターではオコゼ、メイタガレイ等の種苗量技術開発研究も行います。

表2 沿岸漁場整備開発事業

事業名	内容	予定場所等
並型魚礁設置	小規模な魚礁漁場の造成	神戸等15箇所
大型魚礁設置	中規模な魚礁漁場の造成	北淡等3箇所
人口礁漁場造成	大規模な魚礁漁場の造成	但馬東部地区(57年度より継続) 南淡路地区(56年度より継続)
人口礁漁場造成事業調査	人口礁漁場造成の諸条件調査	浜坂町地先海域
増殖場造成	マダイ、カレイ、マダコ、ズワイガニ増殖場の造成	明淡地区(鹿ノ瀬)(58年度より継続)、神淡地区(明石海峡東部)(60年度より継続)、大阪湾北西部地区(東浦・淡路町地先)(新規)、南淡地区(香住町地先)(新規)
小規模漁場保全	漁場堆積物の除去	瀬戸内海地区

漁業経営の健全化 六三三、三二四千元
産務試験場研究室、海況・漁業資源調査
技術開発と普及 一九五、五三三千元
試験研究 (一九九、二八八千元)
水産試験場、但馬水産事務所
漁港及び漁港海岸の整備 五、三六一、五〇〇千元
平成元年度は第八次漁港整備長期計画の第二年度に当たるが、基本目標としては、
①周辺水域の有効利用
②情報化時代に対応した流通加工施設の整備
③活力ある漁村の形成
重点を置き、沿岸地域活性化のための広域的な総合整備、つくり育てる漁業に対応した漁港の整備等を中心に整備の方針が確立している。国において、平成元年度漁港予算は前年度当初比一〇・二％の一、九〇一億九千二〇〇万円で改

表3 第8次漁港整備事業全体計画

事業の種類	全体計画(63~平成5年)	
	国	県
修築事業	1,310,000,000	26,763,000
改修事業	550,000,000	12,250,000
計	1,860,000,000	39,013,000

表5 平成元年度漁港及び漁港海岸整備事業等予算

区分	事業内容	63年度当初予算	元年度当初予算	漁港数	前年度比
		④	⑤	⑥/④	
公共事業	漁港事業	修築	4,160,851	3,646,956	87.6%
		改修	284,426	836,235	294.0
		関連	0	20,574	—
		漁港環境整備	16,300	0	—
		漁港公害	0	51,443	—
	海岸事業	災害	31,000	31,000	100
		小計	4,492,577	4,586,208	102.1
		保全施設	563,230	570,157	101.2
		環境整備	104,716	29,238	28.0
		海岸補修	—	—	—
非公共事業	単独漁港事業	140,000	161,757	115.5	
	漁港管理事業	11,466	14,187	123.7	
	小計	151,466	175,944	116.2	
漁港及び漁港海岸合計		5,311,989	5,361,547	100.9	
公共事業	新設(後期対策)	基本地域沿岸漁業構造改善事業	186,615	211,119	113.1
		全県地域沿岸漁業構造改善事業	17,900	0	—
	調査事業	4,170	716	17.2	
	流通加工施設	108,832	0	—	
小計		317,517	211,835	66.7	
漁港事業職員費		199,789	196,334	98.3	
漁港課総計		5,829,295	5,769,716	99.0	

漁業経営の健全化を図るため、資源培養管理対策推進事業を進めるほか、次の事業を実施します。
漁業近代化資金等利子補給 (二八九、三三三千元)
融資枠 三九億円
沿岸漁業改善資金貸付金(二三四、八三六千円)
融資枠 二億三千万円
漁業経営維持安定資金利子補給 (五六、八二五千元)
融資枠 漁業経営再建資金 五億円
漁業経営指導業務等(九、七六一千円)
漁場環境の保全 二六、七三三千元
漁場環境の監視、漁場廃棄物の除去、赤潮に関する調査を行います。
特に、但馬沖合にズワイガニの増殖場を造成します。
漁場環境の健全化 六三三、三二四千元
産務試験場研究室、海況・漁業資源調査
技術開発と普及 一九五、五三三千元
試験研究 (一九九、二八八千元)
水産試験場、但馬水産事務所
漁港及び漁港海岸の整備 五、三六一、五〇〇千元
平成元年度は第八次漁港整備長期計画の第二年度に当たるが、基本目標としては、
①周辺水域の有効利用
②情報化時代に対応した流通加工施設の整備
③活力ある漁村の形成
重点を置き、沿岸地域活性化のための広域的な総合整備、つくり育てる漁業に対応した漁港の整備等を中心に整備の方針が確立している。国において、平成元年度漁港予算は前年度当初比一〇・二％の一、九〇一億九千二〇〇万円で改

漁港課

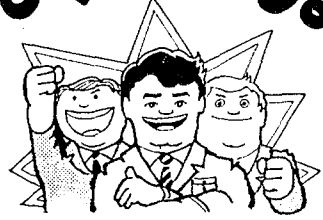
当初予算 五、七六九、〇〇〇千元
府案が決定されている。一方、第四次海岸事業五ヶ年計画は平成元年度が第四年目に当たっており、国の漁港海岸予算は前年度当初比一〇・二％で決定されており、本事業の進捗率は目立って良好である。

表4 平成元年度基本地域沿岸漁業構造改善事業の概要

地域名	市町名	事業主体	事業種目
瀬戸内海地域	明石市	東二見漁協	のり集荷検査施設
	播磨町	播磨町 "	漁船上架施設
	姫路市	網干 "	のり集荷検査施設
	御津町	室津 "	製氷、貯水施設
	家島町	坊勢 "	水産物荷捌施設
	洲本市	洲本市	築いそ(投石)
	津名町	生穂漁協	漁具倉庫
	東浦町	東浦町	築いそ(投石)
	西淡町	丸山	ワカメ種苗生産施設
	南淡町	南淡漁協	漁具倉庫
但馬地域	豊岡市	豊岡市	築いそ(アワビ礁)
	香住町	香住町漁協	漁船上架施設
	香住町	香住町	築いそ(アワビ礁)
	浜坂町	浜坂町漁協	漁具倉庫
浜坂町	浜坂町	築いそ(アワビ礁)	

(4市9町 15ヶ所)

新入職員です！ よろしくお願ひします。



蓮井香守美

①総務部 総務課付
②昭和四十三年一月一日

が過ぎた現在、この寄稿文を書いている訳ですが、入会決定後に水産関係に全くの無知な自分に気が付き、大変不安でした。こうして十日過ぎて水産の事に関する知識は微量ですが、どうかかやっています。今はまだ、ろくに仕事も出来ませんし、ワープロも初心者なので時間がかかりますが、これから、練習し頑張りますので、ご指導の程よろしくお願ひ致します。



赤松 裕代

①購買部 石油課
②昭和四十四年八月十七日

①所属部署
②生年月日
③出身地
④趣味・特技
⑤抱負



藤澤 幸一

兵庫県漁業協同組合連合会
①総務部 総務課付
②昭和四十一年十一月六日

- ③神戸市西区玉津町
- ④ダイビング
- ⑤日本海と内海の2つ



富澤 由貴

①総務部 総務課付
②昭和四十二年一月十七日

- ③広島県呉市
- ④音楽鑑賞
- ⑤県漁連に入会致しまして、早くも十日以上



松谷 文博

①香住油槽所
②昭和四十年十一月五日

③城崎郡香住町
④ダイビング、スキー、ドライブ、など

⑤これから、県漁連のいろいろな事業の内容について、勉強していきたいと思ひます。又、これから所属になった支所又部署で、力いっぱいがんばっていき、責任をもって与えられた仕事をしていきたいと思ひます。



大津 基裕

①津屋山油槽所
②昭和三十八年四月三日

- ③豊岡市
- ④音楽鑑賞
- ⑤これからは兵庫県漁業協同組合連合会の職員としての自覚をもち、一段と気を引締めて、何事にも積極的に取り組んで仕事に当たりたいと思ひます。

①長田港給油所
②昭和三十九年十月一日



河本 龍介

③神戸市
④テニス(月に二、三回)・ボリリング・散歩
⑤自信をもって仕事に打ち込んでいきたいと思ひます。

①業務部 貯金課
②昭和四十三年六月七日

③津名郡淡路町
④音楽鑑賞

⑤早く仕事に慣れるように、ご指導を、よろしくお願ひします。



大西みちる

①総務部 総務課
②昭和四十五年六月二十三日

③城崎郡香住町
④手芸
⑤はやく仕事を覚え、自分にあてられた仕事は、責任を持ってやっしていきたいです。



長門 由巨

①総務課
②昭和四十六年三月三日

- ③明石市
- ④読書、水泳



石飛 博敏

①業務課
②昭和四十一年七月十五日

⑤一日も早く仕事を覚え、一生懸命にがんばりたいと思ひます。



①業務部 貸付課
②昭和四十年四月五日

- ③神戸市灘区
- ④音楽鑑賞、楽器演奏(バンドを結成して、ギターを担当しています。)
- ⑤皆さんの足手まといにならないように、一

①業務部 貸付課
②昭和四十年四月五日

- ③神戸市灘区
- ④音楽鑑賞、楽器演奏(バンドを結成して、ギターを担当しています。)
- ⑤皆さんの足手まといにならないように、一



類々 博之

兵庫県信用漁業協同組合連合会
①兵庫県漁業共済組合
②昭和四十三年八月三日

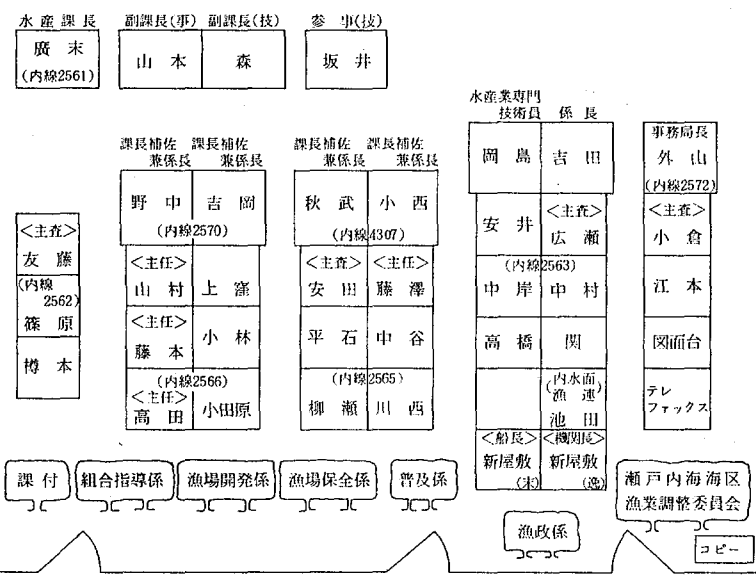
- ③加古川市
- ④読書(推理・恋愛小説)、料理、カラオケ
- ⑤何事にもチャレンジ精神で頑張ろうと思ひますので、よろしくお願ひ致します。



井原美佐子

兵庫県漁業共済組合
①兵庫県漁業共済組合
②昭和四十三年八月三日

- ③加古川市
- ④読書(推理・恋愛小説)、料理、カラオケ
- ⑤何事にもチャレンジ精神で頑張ろうと思ひますので、よろしくお願ひ致します。



水産課職員配置図 H1. 4. 1現在

本年度のノリ養殖の経過と問題点

気・海象の経過

あわただしかった昭和六十三年度ノリ漁期も昨年度に引続き、生産枚数で全国第一位、生産金額で佐賀県に次いで第二位という記録を残して終了しましたが、平均単価は大幅に低下しており、この結果を素直に喜べない状態です。

本年度の養殖期間中の旬別の環境変化について、図1に示す。水温は漁期初めの十月から一月上旬まで平年より低めで順調に低下していき、それに伴って、三月下旬まで十

前後のまま横ばい状態が続いた。このため、二月の最低水温は平年より約1℃高めとなった。降雨量は十月から十一月までは平年よりかなり少ない傾向があったが、一月から三月にかけては平年を大きく

上回った。特に、二月は記録的な大雨で降雨日数も多く、晴れた日が少なかった。主要な栄養塩である窒素量は、播磨灘沖合いの月別平均で見ると漁期を通じて平年より少なく、特に、十一月は五マイクログラム以下の貧栄養の傾向があった。

漁場内の海水交換および海底からの栄養塩供給に有効な風波は、漁期を通じて平年より少ない傾向が多かった。

探・育苗状況

西播地区は十月一日

から段階的に野外採苗および採苗網の張り込みを開始し、家島・坊勢漁場は例年通り十月中旬から採苗網の張り込みを行った。

東播地区では神戸・明石漁場が十月四日から、二見漁場は十月三

日、日本海採苗網も十月七日までに各漁場に移植された。

移殖された。外採苗・東播地区の野外採苗は、一部の漁場で十月一日から開始されたが、本格的な採苗網の張り込みは十月七日前後から行われた。

西播地区では野外採苗は十月一日から、人採苗網の張り込みは十月五日から開始された。

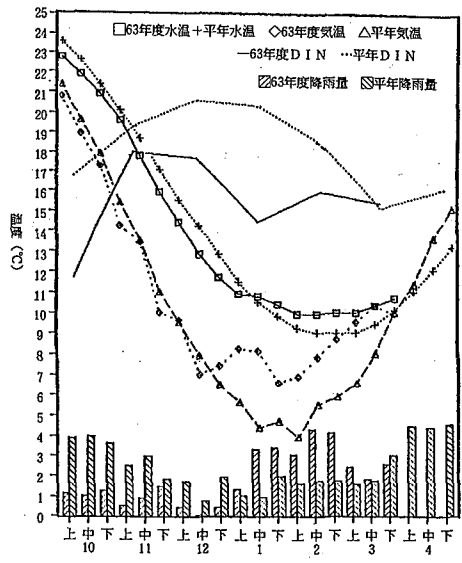


図1 昭和63年度漁期の旬別気象・海象の変化

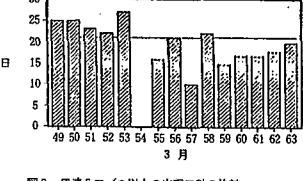
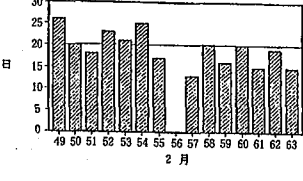
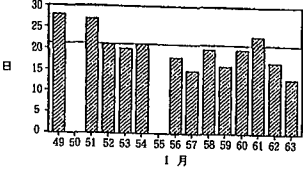
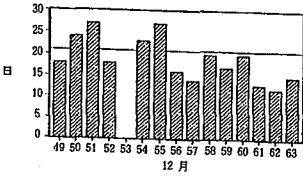


図2 風速5m/s以上の出現日数の比較 (一:昭和49-57年度の平均)

南播地区は十月十一日から採苗網の張り込みを開始した。

本年度の育苗期は、張り込み時から順調に水温が低下し、天候にも恵まれたため、十分な管理ができ、二次芽の着性はきわめて順調であった。しかし、採苗前に濃い芽付きであった網はさらに濃くなりすぎる傾向が多かった。

生長の早い網で十月二十日過ぎから入庫が開始されたが、入庫の遅れた網には、異型芽や死細胞斑などの芽痛みがみられるようになり、十一月上旬まで漁場に残った網には、その症状が顕著であった。

なお、このような芽痛みは東播地区、淡路・西播、東播地区で比較的多い傾向があったが、西播地区および採苗網の張り込みが遅かった家島・坊勢漁場や南播地区では、育苗は順調に経過した。

本張り状況 本張りは、西播地区の赤穂・御津・網子漁場では十一月一日から、白浜・飾磨・広畑漁場では十一月五日から開始された。

東播地区は神戸漁場では十一月十六日から、明石地区では十一月十五日から、二見地区では十一月十三日から張り込みを開始した。

淡路・東播地区では十一月十五日から、西播地区では十一月十六日から張り込みを開始し、南播地区でも十一月十六日を過ぎてから段階的に本張りを開始した。

また、鹿ノ瀬漁場では十一月二十一日から、後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

日を一斉に張り込みが行われた。本張り後は、各漁場とも急速な生長を見せたが、東播地区および淡路周辺の漁場で、死細胞や異常細胞の増加が著しくなる、いわゆるシログサレ症状が発

生し、鹿ノ瀬漁場まで拡大した。早期摘採や、漁場によっては網の張り替えなどの管理を行ったが、回復は遅れウラ

グモリやスミノリの製品となった。このシログサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

本張り状況 本張りは、西播地区の赤穂・御津・網子漁場では十一月一日から、白浜・飾磨・広畑漁場では十一月五日から開始された。

日を一斉に張り込みが行われた。本張り後は、各漁場とも急速な生長を見せたが、東播地区および淡路周辺の漁場で、死細胞や異常細胞の増加が著しくなる、いわゆるシログサレ症状が発

生し、鹿ノ瀬漁場まで拡大した。早期摘採や、漁場によっては網の張り替えなどの管理を行ったが、回復は遅れウラ

グモリやスミノリの製品となった。このシログサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

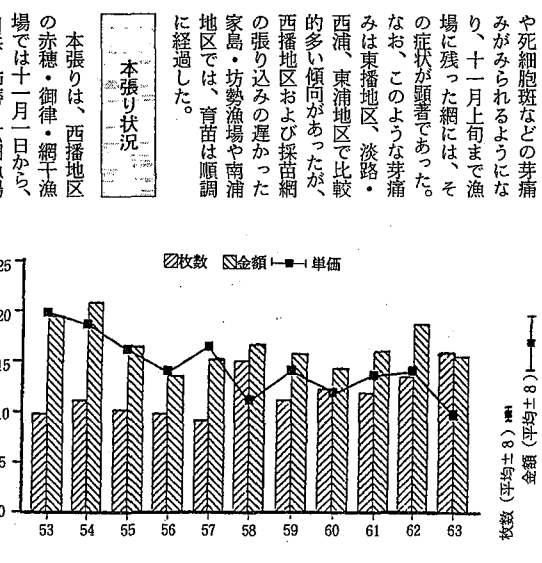
後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

後期生産に入ってから、一部の漁場でスグサレ症状は十二月中旬(五面へつづく)

図3 昭和53-63年度の全県における年度別共販枚数、金額、単価の比較 (注) 5年間(昭和53-57年度)の枚数、金額、単価の平均および標準偏差を示す。



漁海況情報

平成元年4月 兵庫県立水産試験場

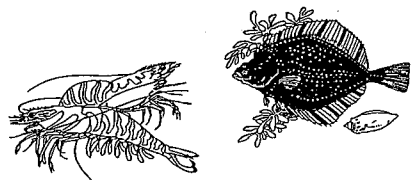
海況 (明石海峡周辺) 旬平均水温は上旬11.5℃、中旬12.4℃を示しており、平年に較べて上旬は0.7℃高目、中旬は0.6℃高目である。

(大阪湾西部・紀伊水道北部) 四月一八日の調査結果によると大阪湾の表層水温は21.4-24.5℃の範囲にあり、ほぼ平年並みである。また紀伊水道北部の表層水温は21.6-27.7℃の範囲にあり、平年に較べて1℃程度高目である。

(播磨灘) 三月五日六日に実施した調査の結果によると、表層水温は10.8-12.2℃の範囲にあり、平

年に較べて1℃程度高目である。明石海峡及びその周辺海域ではスズキ、アイナメ、メバル、カサゴが主に漁獲されている。タチウオは四月中旬になり漁獲が減少した。(刺網・延縄) 大阪

湾北部を主漁場とする流し網では、先月に引き続きキスの漁獲量が多い。(船曳網) イカナゴ新仔漁は、大阪湾では四月下旬にほぼ終了した地区が多く、全般的な漁獲量は、ほぼ昨年並である。紀伊水道北部から大阪湾にかけてのシラス漁が、例年よりやや早く漁獲量も多いようである。



平成元年4月20日
神戸海洋气象台
兵庫県5・6・7月の3か月予報
大阪管区气象台

梅雨入りは平年並、明けは遅いでしょう。梅雨前線の活動は7月に活発化する見込みです。

5月 天気は周期的に変わるとでしょう。寒暖の変動が大きい見込みです。

6月 梅雨入りは平年並でしょう。梅雨前線は南海上に停滞することが多く、中休みの時期がある見込みです。

7月 梅雨前線の活動が活発となり、大雨の恐れがあります。平年より遅く梅雨明けしたのちは、暑い晴天の日が続くでしょう。

※梅雨入りの平年日6月8日
梅雨明けの平年日7月17日
平年並 平年日±3日以内
遅い(早い) 平年日より4日以上

(四国よりつづく)
 ミノリがみられたものの回復は早く、製品の品質は向上した。しかし、一月上旬から水温が横ばい状態になったことや、一、二月に記録的な降雨があったことなどにより、生長が遅く、生産枚数は昨年度後期生産並にとどまった。

西播磨地区では一月下旬頃から色調低下が目立ち始め、徐々に終漁していったが、その他の地区では漁期終了まで順調に生産ができた。

生産状況

本県における漁連共販結果の年度別の比較を、図3に示す。

生産枚数は昭和五十八年度より約十五億枚をさらに上り約十六億枚と史上最高となった。しかし、単価は九・七五円と過去二十五年来の安値となった。このため生産金額は一五六億円にとどまり、典型的な豊作貧乏の漁期となった。

次に、本年度の共販結果と昭和五十三〜五十七年度の平均とを比較し、

十七年度の平均を、共販回数別に比較したものを図4に示す。

十二月から一月までの一〜七回共販を前期生産、以降を後期生産とすると、昭和五十三〜五十七年度の平均では枚数、金額ともに前期生産が約四十％、後期生産が約六十％の比率となっている。本年度の前期生産の枚数、金額の比率はともに四十二〜三％で、前期と後期の生産比率は平均と同様の傾向にあったが、単価は、共販回数別にみて一度も平均を上回ることなく低迷した。

養殖規模の動向

本県のノリ養殖規模の動向について、昭和五十三〜五十七年度を基準として各年度の比較を表1に示す。

生産者数は昭和五十八年度から明らかに減少傾向にあるが、柵数はほぼ安定している。このため、一人当たりの柵数は増加する傾向がみられている。

次に、本年度の問題点を挙げてみる。

本年度の問題点

以上、本年度の養殖経過をかいまんだが、述べたように、それぞれ

の十月下旬から十一月下旬にかけての水温低下の純化によると思われる生理障害が目立ち、

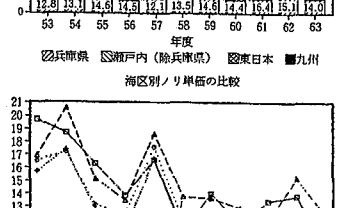
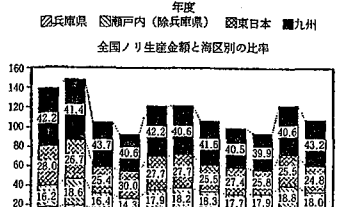
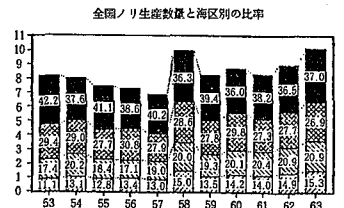


図5 年度別の全国、海区および兵庫県におけるノリ養殖生産比率の推移

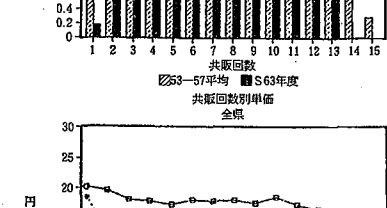
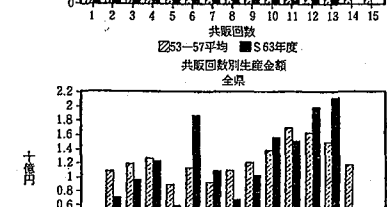
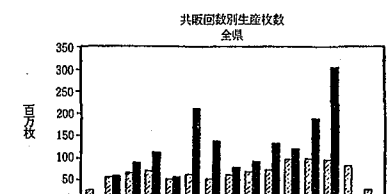


図4 昭和63年度ノリ漁期における共販回数別生産結果及び昭和53〜57年度平均との比較

表1 昭和53年度から昭和63年度までのノリ養殖動向の経過

年度	生産者数	柵数	1人当り柵数	持ち網数	持ち網比率 地網 移植網	生産枚数	柵当り 生産枚数
53	93	88	95	87	46 54	88	112
54	99	100	101	101	50 50	111	110
55	103	105	102	112	52 48	102	96
56	105	106	101	107	60 40	101	95
57	101	101	100	105	62 38	89	87
58	98	98	100	100	60 40	140	142
59	95	98	104	98	63 37	105	107
60	92	96	104	91	75 25	114	120
61	89	98	110	87	65 35	111	113
62	83	100	121	85	79 21	127	126
63	82	98	119	78	76 24	144	145

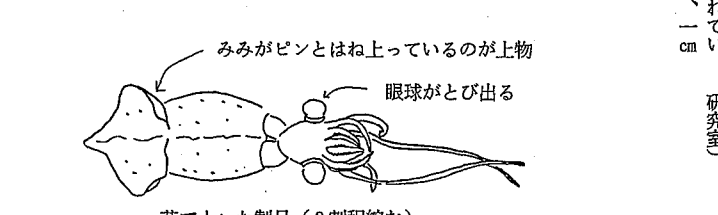
注) 5年間(53〜57年度)の平均を100とする指数を示す。

ただし、持ち網比率は隔年度の持ち網数に対する比率。

み柵数について再検討することが大切である。全国的ノリ生産は、生産過剰がさげられるなか昭和五十八年度を上回りに、百億枚を越えるようになってきた。本県では過去三年來漁期短縮による生産調整を実施してきましたが、実際の効果のほどは疑問の余地がある。本質的な生産調整のためには、さらに協議を重ね対策を練りなおす必要があると考えられる。

以上、本年度の養殖経過と残された問題点について述べてきたが、これらを解決していくためには、生産者の皆様のご英断と、その力を結集する地区および県のノリ養殖安定対策協議会のしつかりとした基盤づくりが重要であると思えます。

来る平成元年度漁期に向けて「兵庫ノリ」がますます発展するとともに、皆様のご健康をお祈りします。(文責 兵庫県立水産試験場「兵庫ノリ」研究所(地域指定) 所) 駐在室(谷田圭亮)



「ホテルイカ」
 今、但馬各地の港は、ホテルイカの漁獲で賑わっています。津居山港などは日に七、二〇トン余りも水揚げされています。ほとんどが近くの加工場に運ばれ釜茹でされています。茹で時間、塩加減など加工場のノウハウがあるようです。冷やして酢味噌で食べるのが一般的。連日やってくるグルメリョウターの人達も値段が手厚いので先を競って買い求めている姿をよく目にします。このおいしい、脂のつった肝臓と発達した卵巣とが相和したもので旬の味といえます。雄個体は、1cm程小さいので容易に区別がつけます。産卵期(三〜六月)になると雌群だけが浅海に移動することになります。産卵後は、再び深海に戻ることなく死んでしまふようです。卵は、一・三×一・〇mmの楕円型の浮遊分離卵で水深七〇m以浅で多く見つかっています。津居山沖定線調査では稚仔も発見されており、昨年の漁獲量は真山県に次いで二位の二七七トンでした。前述のように産卵回遊の雌だけを漁獲しているのが漁獲の増大が資源の再生産に影響を及ぼすことも危惧されています。(但馬水産事務所試験研究室)

但馬魚便り
 1

